



# チャペルニュース

## Chapel News No.148

2021年4月1日

東北学院大学 入学・進級号



宗教部長

野村 信

### 「読もう」

— 心を読み、時代を読み、本を読む

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。進級した在学生の皆さん、新しい学年を満足のいく一年となるように、しっかりと過ごしてください。どの人にとっても新しい一年が始まりました。新型コロナウイルス禍の中で過ごす日が続きますが、感染予防をしながら、忍耐し、工夫して、良い一年を過ごしてください。

ところで今回、感染拡大を防ぐために、昨年からの、「三密」を避けるように指示が出ています。感染防止のために必要な対策ですが、これは人との距離を遠ざけるといふ結果になります。その分、自分一人で過ごす時間が増えていることも確かです。そこで、一人の時間のほとんどをディスプレイの前で費やすのではなく、自分の教養や成長に役立つ取り組みに使いたいものです。

そこでどんな取り組みがあるのかと言えば、何よりも「読む」ことです。しかも読む対象はたくさんあります。副題に掲げたジャンルだけでなく、「空気を読む」、「相手の手の内を読む」、「地図を読む」とか、

西洋中世の時代に大切にされた「自然を読む」というのもあります。

しかしもっと一般的なのは、言うまでもなく「本を読む」ことです。しかもレジャーとしての、フィクション系のものだけでなく、ノンフィクション系の実話、思想、評論など、実際に起きた出来事についての解説や著者の真実な感動や願い、誠実な意図が反映している書物です。

フィクション系の代表格である小説が世界の書物の主流を占めるようになったのは、ここ二、三百年だということですが、それまでは、ノンフィクション系の書物が流布していました。その最も大切にされてきたのが『聖書』です。

『聖書』は、「バイブル」と英語でいいますが、この語源はエジプトのパピルスにまで遡ると言われています。すなわち『聖書』は、「本」の出発点であり、源泉です。その結果、『聖書』は礼拝説教で説き明かされるだけでなく、多くの小説やアニメ、ドラマ、映画などに題材を提供し、影響してきました。

そこで『聖書』そのものを読むことが、一番面白く、大切な取り組みです。『聖書』には人間と世界について必要なすべてのことが書かれています。ただし、どれだけ深く、豊かに読める（解釈できる）かにかかっています。

『聖書』を読む面白さ、大切さは大学の礼拝やキリスト教で学びますので、そこでその「コツ」を学び、新しい、大事な知見を得てください。皆さんが本学で、生涯大切に出来る言葉と教えに出会えることを期待しています。

# LIFE LIGHT LOVE

学長  
大西  
晴樹



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは、COVID-19の流行の中ですが、東北学院大学において学業をスタートしました。

東北学院大学の「建学の精神」は、キリスト教に基づく人格教育を土台に、各自の専門科目を修得することを目的としています。たとえ、専門はそれぞれ異なれ、学院大学の学生は、キリスト教に基づく人格教育という共通の教育を受けることとなります。

しかし、キリスト教に基づく人格教育といっても、キリスト教をこれまで学んでこなかった多くの皆さんにとっては、分かりにくいものがあるのではないのでしょうか。東北学院大学は、それを分かりやすく伝えるために「スクールモットー」としてLIFE LIGHT LOVEを掲げています。翻訳すれば、LIFE(いのち)、LIGHT(ひかり)、LOVE(あい)がそれぞれです。

LIFE(いのち)という言葉について、生命体としての有限な「いのち」という意味以外に、聖書には、神から授かった永遠の「いのち」という意味があり、それゆえ、自分の

「いのち」だけではなく、同じように神から授かった他者の「いのち」もお互いに大切にされなければならぬという教えがあります。いわゆる、個人の尊重です。

LIGHT(ひかり)という言葉について、東北学院大学でもよく使われますが、聖書には、「あなたがたは地の塩、世の光である」という有名な言葉があります。この言葉には、「世の光」、すなわち、この世の闇を照らす知識や行動の担い手としての「光」となりなさいという意味が込められています。

LOVE(あい)という言葉について、聖書には、「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい」と述べて、「隣人愛」の大切さが説かれています。そして、その「隣人愛」を絶えず人間に示してくださっているのが、イエス・キリスト、そのものなのです。

皆さんは、大学礼拝に出席して聖書の言葉に耳を傾け、人格や人間性という、生きていくうえで大切な土台を構築し、それぞれの専門を極め、そこで修得した知識や技術を「地域や世界へ」役立ててもらいたいものです。



# CAMPUS MESSAGES

各キャンパス担当の先生たちからのご挨拶

Izumi



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学での学びは、一見即効性が見えないようなものであっても、10年後、20年後といった長い時間の過ごし方を豊かにしてゆくものです。そのような長いスパンで物事を捉え、どのような状況であつても着実に学びを進めていくことは、いかに地味に見えようとも変転していく世界の中を渡り歩いていくときの基礎となります。そして、この学びの道は、人間が人間であるということの有限性の自覚、超越への眼差し、人間の尊厳と謙虚を確認する礼拝を中心とした活動によって支えられています。これまで例のない冬を乗り越えて春を迎えられたみなさんの大学での学びが充実したものでありますように。



泉キャンパス

大学宗教主任

田島 卓

Tagajo



「千年に一度」と言われる東日本大震災の発生から丁度十年を経た今、私たちは「百年に一度」と言われるコロナ禍の中を生きています。全人類がこの未曾有の危機に直面し、ライフスタイルの変容が求められています。大学でも昨年からのリモート講義が行われ、対面講義でもソーシャルディスタンスが求められています。変容が求められる今、改めて「どう生きるか」が問われています。現実世界への順応力を磨くと共に、この現実世界を変える変革力も身に着ける必要があります。表層的な学びではなく、人間の深層に染みる学びをするのが大学です。人間力を磨く学びでも聖書に基づく教育と礼拝が行われています。聖書の言葉に耳を傾けながら、人間力を磨いていきましょう。



多賀城キャンパス

大学宗教主任

原田 浩司

Tsukitai



新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。今年度入学された皆様は、昨年度から続く新型コロナウイルスによるパンデミックの中で大学生活をスタートされることとなります。この厳しい現実の中で、戸惑いや不安を覚えておられる方もいることでしょう。しかし、このような変化の激しい混乱の時代だからこそ、皆様には「変わらないもの」に目を向けていただきたいと思えます。それは聖書の言葉です。聖書は長い歴史の中で受け継がれてきた叡智の言葉です。毎回の大学礼拝では、説教を通して聖書の言葉が語られます。ぜひ大学礼拝に出席し、聖書の言葉から混乱の時代を生きるヒントを見つけてください。皆様のご参加を心から歓迎いたします。



土樋キャンパス

大学宗教主任

藤野 雄大



松村 大河  
法学部卒  
一般企業に就職

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。

大学生活と聞いて、皆さんは何をイメージするでしょうか。大学生活における最大の魅力は「自由」です。ゼミやサークル、アルバイトなどに自由に打ち込める環境こそが大学の良さです。

しかし自由であるほど、自律する力が大切です。充実した4年間を送るためのアクションプランを、皆さんにお伝えします。

一つ目は、即行動することです。悩んだ末、行動に移せなかった経験はやがて後悔へと変わります。悔いのない大学生活を送るため、まず行動しましょう。

二つ目は、ゴールから逆算して行動することです。自ずと今取るべき行動が見えてきます。

三つ目は、自己研鑽を行い、自らの市場価値を上げることです。将来のキャリアを見据え、必要なものを身に着けましょう。就職にも必ず生きてきます。

時間は有限です。四年間で理想の自分を手に入れましょう。

## 新入生のみなさん！ はりきって大学生活を送ってください。 今春の卒業生からのメッセージ



関口 舞子  
文学部卒  
一般企業に就職



今野 菜緒  
文学部卒  
一般企業に就職

大学での四年間で、私はいろいろなタイプの人と出会い、いろいろな考えに触れることができました。様々な人との出会いを経て、自分のことや人生についてもよく考えることが出来たことは良かったと思います。

また、授業で聖書について様々な視点から学ぶことでキリスト教のイメージが変わりました。この学びも自分自身の考えを深める一助になりました。

新しい環境に戸惑って周りの人に声をかけられないかもしれませんが、周りの皆もそれは同じです。ためらわずに、色々な人と接することが充実した大学生活への一歩となるかもしれません。ぜひ、楽しい大学生活を送ってください。

振り返ると多くの人と出会うことができ、貴重な経験もできた大変充実した四年間でした。私は放送会に所属し、先輩や同輩、後輩と関わる中で、知らなかったことや好きなモノが増えていきました。また、放送会以外にも特別委員会に参加したことで多くの友人に恵まれ、楽しかった思い出が多く残りました。

今年の特例年とは違い、苦勞するところが多いですが、自分から進んでコミュニケーションを広げ、大学内やバイトなど何か新しい一歩を踏み出してみると有意義な大学生活を送れると思います。



# 一緒に歌う楽しさ、響き渡る声



一緒に聖歌隊で歌いましょう！  
どなたでも参加してください！

4回のクリスマスの合唱を終えて、さあ、打ち上げ！  
鍋が美味しい、笑顔がはじける、先生たちはほっと一息  
ついて、と。(一昨年写真)



## 賛美の歌声を守れ！—— 聖歌隊の挑戦

choirmaster

合唱指導者

中川 郁太郎

宗教部聖歌隊は、建学の精神に基づき、東北学院大学の中心で歌う合唱団として大学礼拝やクリスマスで賛美を捧げてきました。

昨年、世界で流行した新型コロナウイルス感染症は、人類を「歌うこと」から遠ざけてしまいました。しかし、教会の歴史と共に受け継がれてきた賛美の歌声は、東北学院の礼拝から決して失われてはならないものです。聖歌隊では賛美の歌声を絶やさないために、Zoomを使って自宅から参加できるリモート練習や、クリスマス礼拝動画での合唱(感染対策をおこない、マスクをかけて歌いました)など、さまざまな試みをおこなってきました。

新しい年度も、状況に応じ「リモート練習」と「感染対策を十分行ったうえでの対面の合唱」を組み合わせしていきます。リモート練習の特性を活かして歌や合唱経験のない人にも個別に丁寧な指導をおこない、Zoomを通じて音楽に限らず様々なことを語り合う時間もつくります。4月8日木曜日、16時に下記のZoomミーティングルームで新年度最初のミーティングをおこないますので、皆さん是非いらしてください。東北学院の歌声を守るため、共にチャレンジしてまいりましょう！

聖歌隊練習 Zoom ミーティング ID: 923 4238 3180 PW: 535325

最新情報は次のTwitterに反映させますので、併せてご覧ください。@choir\_gakuin



# 大学礼拝について

## 基本的なことを知っておこう

東北学院大学では、講義のある日は大学礼拝を毎日行っています。これは創立した時から現在にいたるまで不変であり、「建学の精神」の具体的な現れです。新入生も在校生も大学礼拝の大切さを知って、午前中にキャンパスにいる時には必ず出席しましょう。皆さんの学びに欠かせない「軸」であり、「養い」です。大学礼拝は教会の礼拝より短く設定され、学生の皆さんを対象に準備されています。

なお、音楽礼拝や英語礼拝など多少変則的なスタイルの礼拝も行っていますが、大学礼拝の基本的なことをお伝えします。

3

### 【聖書】

*Bible*

司会者が聖書を開くように指示します。礼拝堂に早く来た人は、あらかじめ開いて読んでおくことをお勧めします。聖書は旧約聖書と新約聖書で構成されています。それぞれに頁数が付されていますのでよく確認してください。聖書には、人が生きていく上で必要なすべてのことが網羅されていると受け止められてきましたので、一語一句、大切な教えとして聞くように心がけましょう。

2

### 【讃美歌】

*Hymn*

司会者が讃美歌の番号を告げます。起立して、心をこめて、声高らかに、一緒に讃美歌を歌いましょう。歌詞を味わうことも大切です。そのうち、自分の好きな讃美歌もできるでしょう。

1

### 【前奏】

*Prelude*

第1校時が午前10時20分に終わるとチャイムが鳴り、礼拝堂ではオルガンの前奏が始まります。礼拝堂の最前列から順に着席して下さい。私語は慎み、電子機器はしまって、心を静めて礼拝に備えましょう。

6

### 【頌栄】

*Congregational Response*

神の栄光をたたえる短い讃美歌です。頌栄の後、黙祷を捧げます。

5

### 【祈 祷】

*Prayer*

司会者は、聖書を説いた後、神の恵みと平安、導きを願う祈りを捧げます。祈りの最後に、司会者と出席者全員で「アーメン」と言います。「そのとおり」の意味です。祈りをみんなで共有する思いで、「アーメン」と唱和しましょう。讃美歌を歌った後の「アーメン」も同じ意味です。

4

### 【説 教】

*Treaching*

司会者は、本学の宗教部の先生たちやクリスチャンの先生方であり、教会の牧師の方々が担当される日もあります。どの人も、その日に朗読した聖書に基づいて話されます。一般に「説教」というと、「叱られている」という意味もありますが、「礼拝の説教は、「聖書を説いて教える」とことと理解してください。大切なことは、聖書の「福音」を聴くことであり、人類への「神の貴い愛」を知ることです。



7

### 【後 奏】

*Postlude*

オルガンの後奏は、「世へ派遣を意味し、皆さんを礼拝堂から新しい一日へ送り出します。」



**原田 浩司先生**（大学宗教主任）  
 専門は、スコットランド教会史。各キャンパスの大学礼拝でお会いしましょう！



**木村 純二先生**（大学宗教主任）  
 日本文化や文学の専門家。大学礼拝で心を静めて自分と向き合う時間を大切にしてください。



**川島 堅二先生**（総合人文学科長）  
 専門は近代キリスト教思想の研究。カルトなど社会問題化する宗教の研究や調査もしています。



**出村 みや子先生**（大学宗教主任）  
 古代ギリシア教父オリゲネスが専門。ギリシア文学にも精通しています。「時を見分けよ」との主イエスの言葉を心に留めて過ごしましょう！」



**野村 信先生**（宗教部長）  
 十六世紀のジュネーヴの宗教改革者・カルヴァンの研究者。



**大西 晴樹先生**（院長・学長）  
 イギリス経済史を専門とされ、一昨年からは学長を、昨年からは院長を兼任。

## 大学礼拝担当者のご紹介

他に、ここに掲載されていないクリスチャンの先生方が数名おられます。皆様、今年度もよろしくお願いいたします。



**今井 奈緒子先生**（大学オルガニスト）  
 バロック作品他の演奏、また通奏低音の研究を専門とし、日本を代表するオルガン演奏者の一人。



**長島 慎二先生**（工学部准教授）  
 流体工学が専門で、旭ヶ岡寄宿舎舎監を兼任。み言葉こそ東北学院の基です。共に礼拝でみ言葉を聴きましょう。



**渡辺 有美先生**（大学宗教主任）  
 初期イタリ・アルネサンス美術が専門です。全ての良きものをくださる神様とともに見上げて行きましょう。



**藤野 雄大先生**（大学宗教主任）  
 専門は、アメリカ教会史。東北学院で豊かな学びがなされますよう、お祈りしております。



**田島 卓先生**（大学宗教主任）  
 専門は旧約聖書です。日々の礼拝で皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



**吉田 新先生**（大学宗教主任）  
 専門は新約聖書学です。東北学院のキャンパスで多くの思い出をつくらせてください。



## 第16回

# 「学生のためのオルガン公開講座」のお知らせ



大学オルガニスト  
**今井 奈緒子**

この講座は、礼拝の楽器として用いられているオルガンに親しみ、演奏することを目的としています。専門家である本学の礼拝オルガニストが、各キャンパス礼拝堂のオルガンをを用いて指導します。単位に関係のない講座ですので、卒業まで継続して受講することも可能です。受講場所も開講時間に合わせて、希望のキャンパスで受講することができます。

### ◆ 場所

土樋・多賀城・泉、各キャンパス礼拝堂

### ◆ 受講料

年間一五、〇〇〇円

### ◆ 期間

五月～十二月(レッスンは月一回ペースで実施。その他自主練習、演奏会準備)

### ◆ 募集人数

各キャンパスにつき若干名

### ◆ 講師

小野なおみ(礼拝オルガニスト)  
今井奈緒子  
(教養学部教授、大学オルガニスト)

### ◆ ガイダンス開催日

受講希望者は所属キャンパスに拘わらず、五月六日(木)十六時に、泉キャンパス音楽研究室(礼拝堂一階)の前へ集まってください。ガイダンスの後に受講の意思確認をし、講師との顔合わせ、レッスンの相談、調整等を行います。

出席不可能な場合は事前に宗教音楽研究所までご連絡ください(022-375-1185)。なお、希望者多数の場合は相談、抽選ないし後日オーディションをさせていただく場合があります。

### ◆ 対象

本学に在籍する学生  
(所属学部、学部生・大学院生を問わず)

### ◆ 内容

オルガンの奏法と作品を学び、  
(個人またはグループレッスン形式)  
ガイダンスと修了演奏会を実施します。

## 宗教部

# 聖歌隊へのお誘い

みなさん、一緒に歌を歌いませんか。中学、高校とみんなで合唱する楽しさを味わった人は大勢いると思います。大学でもぜひ一緒に楽しく歌いましょう。本学の「聖歌隊」は、長く親しまれてきた合唱曲や宗教音楽、また讃美歌を歌い、定期演奏会で発表したり、クリスマスにメサイアを歌ったり、と楽しい企画が幾つもあります。指揮者、ボイストレーナーの先生がしっかり指導してくれます。

歌うことの好きな方は大歓迎です。今年度の第一回は、四月八日(木)の午後四時より、ZOOMミーティングを行います。ID・パスワードは5ページをご覧ください。是非、参加しましょう。

## 編集後記

新入生の皆さん、日常生活はコロナ禍にあつて制限されても、気持ちは自由で、未来を志向してください。

幾つかの講義はキャンパスで行われますから、緑の広がるキャンパスで、予防し、工夫しながら良く学び、楽しく活動して大学生活を送ってください。きっとこの経験は皆さんの将来に役立つと思います。

午前中講義がある人は、各キャンパスで行われる大学礼拝へ出席し、心の養いをしてください。貴重な時間になると思います。

大学礼拝は入場数に制限がありますから、礼拝の動画配信を本学のホームページ上で行います。出席できない人は、一週間ごとに更新されますので、それを視聴してください。

この一年、守られて有意義に過ごすことができますように。

二〇二二年四月一日

東北学院大学宗教部

編集 野村 信

〒九八〇-八五二

仙台市青葉区土樋二丁目三番一